

【患者】74歳、男性

【既往歴】特記なし

【病態】膀胱癌（全摘）

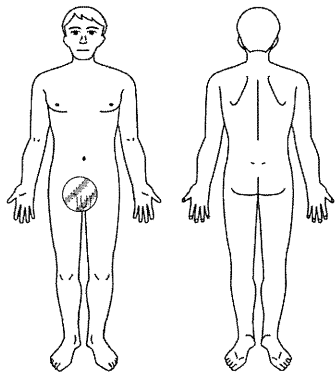
【ターミナル期】特記なし

【現病歴】

X年9月に退院後、引き続き外来にて経過観察となる。会陰部痛は退院後も消失することなくあったため、患者本人の希望により、外来にて鍼灸治療継続となる。治療期間は1週間、2週間、4週間と、状態に応じて、医師の判断で間隔があくため、今回不定期な鍼灸治療介入ではあるが施行開始する。

【服薬状況】

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物散



【鍼灸治療目的】

会陰部痛に対して、鍼灸治療介入。

【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝やや洪

舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張

【弁証】肝胃不和、血瘀

【入院期間】日間

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】1回/2~4週、24回

【転帰】外来にて継続中

【評価】外来で使用している痛み日誌にあわせ、NRSで評価を行っていたが、口癖のように「10」と繰り返すようになったので、家族、医師・看護師の印象評価を採用する。

【鍼灸治療最終評価】

1)会陰部痛：有効

【治療経過】

9月20日

15:30 レスキュー使用5~6回/日。嘔気あるも経口摂取良好

16:00 鍼灸治療1診目

痛みは変わらない。ムカつきあり、味覚障害のため美味し

いかも分からんし、ムカつき少しあるよ。

脈診：脾・腎弦、肝やや洪

舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張

食欲：ラーメン食べたい時があったけど、腎臓食やし無理やろな

睡眠：まずまず

痛み：ズキズキする。NRS=8~10

☆治療部位

〈毫鍼〉左期門、左足三里、左三陰交、右行間、陰部神経、次髎、崑崙

〈円皮鍼〉左期門

9月26日

14:30 嘔気があるとのこと、一度胃カメラしてみてもよいか。

15:00 鍼灸治療2診目

食欲あるも、ムカついて吐き気がする。痛いか痛くないかで痛みの強弱はない。強い時はVAS=78mm。

脈診：胃・腎弦

舌診：紅舌、白膩苔

睡眠：熟眠感はない

排便：1回/3日→2回/日か1回/2日に。

☆治療部位

〈毫鍼〉足三里、右束骨・京骨の間、右公孫、左太衝、次髎、陰部神経

〈円皮鍼〉足三里

10月4日

15:00 鍼灸治療3診目

痛みあまり変わらず。ムカつきはまだあるので、今度胃カメラする事にしました。

☆治療部位

〈毫鍼〉左期門、右合谷、右経渠、右足三里、復溜

15:30 レスキュー使用回数が7~8回/日に増加。

10月11日

15:00 デイサービス中は痛み、嘔気はなかった。

16:00 鍼灸治療4診目

デイサービスではゲームをしたり、体操がある。

脈診：脾・腎微弦

舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張

☆治療部位

〈毫鍼〉合谷、右期門、左足三里、右復溜、右太衝、左公孫、次髎、陰部神経

〈円皮鍼〉左合谷、行間

10月18日

16:00 レスキュー使用回数が6~8回/日。痛みは変わらないと。

16:10 鍼灸治療5診目

あまり変わらない。家にいると痛みが気になる。

最近躓くことが多くなっている気がする。

脈診：腎弦

舌診：紅舌、舌辺厚苔、舌下静脈怒張少々

睡眠：痛みで起きるけど、痛くなければ眠れている。

触診：右足三里～上巨虚緊張、左足三里軟弱、右太衝緊張、
左公孫緊張、手三里緊張圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左下巨虚、右太衝、左公孫、合谷、手三里、
次膠、志室、脾俞

<e-Q>左足三里

10月25日

16:30 BW: 67.65kg、相変わらず会陰部痛あり。デイは楽しいが、
家では家族とケンカしている。

レスキュー使用回数は7~8回/日

16:40 鍼灸治療6診目

呼吸がゼエゼエとしんどい。何かしている間に痛み忘れて
いることがある。

脈診：滑

舌診：紅舌、厚膩苔、舌下静脈怒張

☆治療部位

<毫鍼>経渠、中府、左期門、右足三里、行間、右公孫、左肺俞、
右脾俞、左胃俞、志室、次膠、陰部神経

<鍍鍼>隠白

<円皮鍼>右風門、肺俞

11月8日

16:00 痛み変わらないと。近医から眠剤を処方されており、夜間
やや眠れている様子。レスキュー使用回数は5回/日。

16:10 鍼灸治療7診目

変わらんね。

脈診：脾弦

触診：右内関緊張、合谷緊張、右足三里～上巨虚緊張、胆経緊張、
左公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>右内関、合谷、右上巨虚、侠溪、右公孫、右胆俞、志室、
大腸俞、右崑崙、次膠、陰部神経

<鍍鍼>背部、行間

11月22日

15:00 レスキュー使用回数は5回/日。嘔気なし。

16:00 鍼灸治療8診目

夜が少なくなったでしょ？近医の薬が効果あるんやと思う。

脈診：脾滑、肝弦

触診：胸脇苦満。

☆治療部位

<毫鍼>合谷、左期門、右上巨虚、行間、左太溪、左三陰交、右胃俞、
志室、中膠、陰部神経

<円皮鍼>左大都

12月6日

15:00 便秘時に痛み増悪。嘔気改善せず

15:30 鍼灸治療9診目

手の震えがあまりしなくなった。痛み相変わらずで、ズー
ンとしたような痛みで、脂汗がでるくらい。

脈診：脾微弦、虚

舌診：淡紅舌、厚膩苔（舌根部）、舌下静脈怒張少々。

触診：胆経上皮膚乾燥。合谷緊張、外関表面緊張、右上巨虚緊張、
行間圧痛、地五会圧痛

☆治療部位

<毫鍼>陰部神経、次膠、附陽、合谷、行間、右外関、左公孫
<円皮鍼>地五会

12月18日

14:30 BW: 68.9kg。レスキュー使用回数が5回/日になる

15:30 鍼灸治療10診目

相変わらず。娘に対しての不満があり、強い。デイサービ
スが物足りなく感じている。

脈診：滑

便痛：1週間ない事も。

☆治療部位

<毫鍼>右合谷、三陰交、太衝、章門、上巨虚、左太溪、右公孫、
至陽、胃俞、志室、次膠、陰部神経

<円皮鍼>合谷

1月10日

15:30 レスキュー使用回数は5回/日に安定している

15:40 鍼灸治療11診目

年末年始どこに行くわけでもなく家にいる。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

触診：右胃経熱感、右上巨虚緊張、左太溪緊張、右公孫緊張、
内庭圧痛、外内庭圧痛、左期門圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右公孫、右合谷、左期門、内庭、外内庭、左太溪、
陰部神経、次膠、腎俞、胃俞

<円皮鍼>左行間

16:00 レスキュー使用回数は4~5回/日

家にいるとイライラする。鍼灸治療は気持ちいいとのこと。

4月4日

15:30 デイサービスのある日：4~5回/日、その他は7回/日

15:45 鍼灸治療 12 診目
最初の 2 週間は時々痛みがあり、家にいると激痛が起こっていた。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張

痛み：ズキツとした痛み

部位：右大腿外側

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太衝、右公孫、右漏谷、左期門、右陰部神経、
右次膠、右肝兪、筋縮、崑崙

<円皮鍼>左三陰交

15:50 NRS=8~10。会陰部は締め付けられる痛み。

5月2日

15:30 BW:72.3kg。レスキュー使用回数は6回/日

17:40 鍼灸治療 13 診目

イライラすると痛みが増す気がする。

脈診：腎弦

舌診：紅舌、白膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右期門、左合谷、足三里、左上巨虚、右三陰交、左復溜、
太衝、陰部神経、次膠、右脾兪、右腎兪

5月30日

15:30 レスキュー使用回数は6回/日。変化なし。

15:40 鍼灸治療 14 診目

痛いね。娘が家にいるからイライラする。

脈診：肺やや滑、腎微弦

舌診：暗紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診：Th7、Th12 棘突起圧痛、左胃兪付近膨隆、右胆兪圧痛、肝経・
胃経熱感、左期門圧痛、足三里緊張、三陰交深部硬結圧痛、
右地五会圧痛、左臨泣圧痛。ストレス発散できてない様子。

☆治療部位

<毫鍼>左期門、外関、足三里、三陰交、行間、右地五会、左臨泣、
Th7・Th12 俠脊穴、腎兪、次膠、陰部神経

<円皮鍼>外関、三陰交、行間、公孫、尺沢

6月27日

15:30 しんどいと。レスキュー使用回数は6回/日

16:00 鍼灸治療 15 診目

家にいるとしんどい。

脈診：肝渋、脾微弦

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔、舌下静脈怒張。

☆治療部位

<毫鍼>左合谷、右外関、左膝関、右上巨虚、三陰交、内庭、外内庭、
左公孫、右地五会

<円皮鍼>右公孫、Th5・Th6・Th7 俠脊穴

7月25日

15:30 鍼灸治療 16 診目

娘がきついです。痛みも強くなってきている。足も重だ
るいし、躓きそうになる。

脈診：脾滑、腎微弦

触診：行間圧痛、足三里緊張 (R>L)、右期門圧痛、右外関緊張

☆治療部位

<毫鍼>右期門、右外関、右後溪、足三里、右内庭、右外内庭、行間、
左太溪、風池、右膈兪、左陥兪、右胃兪、志室、崑崙

<鍍鍼>肩背部

<円皮鍼>Th7 俠脊穴、右内庭、右外内庭

※鍼灸治療後はしんどさ消失したと。

16:00 レスキュー使用回数6回/日

8月22日

15:30 鍼灸治療 17 診目

デイサービスに行っている時は気が楽でいいです。

家にいると息が詰まる。

脈診：肝渋、腎弦

触診：胸脇苦満

☆治療部位

<毫鍼>内庭、外内庭、右臨泣、左俠溪、右足三里、左期門、中腕、
左公孫、陰部神経、次膠

<円皮鍼>至陽

16:10 デイの時は痛みが気にならないらしい。

16:30 痛いのがかなん。娘との葛藤、ストレスを言われる。

9月5日

15:30 フェントステープ効かなくなってきた。デイに行く日でも
7回/日になっている

15:40 鍼灸治療 18 診目

かわらんです。痛みのある時間帯も、間隔も特別何がある
からというわけではなくて、常に痛いです。来る途中でも
市販の薬のんできた。入院したいくらい。夜間も眠れない
し、ストレス溜まるし。デイとかここで先生たちに話をし
ているとマシ。これが日ごろから続けばいいのに。

脈診：脾虚、肝弦

舌診：淡白舌、白膩苔

触診：両胆経緊張、地五会圧痛

☆治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>至陽、腎兪、次膠、地五会、右内庭、左中封、右内関、
左外関、地五会

<円皮鍼>至陽、膻中、左期門

9月26日

15:00 レスキュー使用するとひどくなる。最近脂汗がでる。

15:30 鍼灸治療 19 診目

かわらんね。服薬すると直後激痛。下腿に力が入らない。

☆治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右地五会、左内通谷、右期門、膻中、
右氣戸

10月10日

15:00 散歩するが足ががくがくする。経口摂取はそこそこ。

16:00 痛み変わらず、下肢のしびれあり。歩行しにくい時がある。

脈診：肝弦、腎微弦

舌診：紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

触診：期門圧痛、右章門圧痛、公孫緊張 (R>L)

☆治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>期門、右章門、左三陰交、右公孫、左上巨虚、左陥兪、
右胃兪、志室

※陰部神経刺鍼響きあり。鍼灸治療中入眠される。治療後は「痛みマシになってきた」と。

10月24日

15:00 痛みも家族間も変わりなし。

15:30 鍼灸治療 20 診目

食後にムカつきがあった。痛い時はレスキュー使用回数 9
回/日、毎日娘とケンカしておりストレスがたまる。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：淡紅舌、白膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫、右内関、左中封、足三里、右期門、左不容

11月7日

16:00 レスキューは 8~10 回/日使用している。依存してきている。

16:30 鍼灸治療 21 診目

変わらんね。いつもと一緒に。(娘さんとは?) 一緒に。
酷くなるばかり。

脈診：脾滑、肝弦

舌診：暗淡白、白膩苔 (舌根部)

☆治療部位

<鍼通電 100Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>左復溜、左上巨虚、右公孫、左尺沢、左期門

11月21日

16:00 しんどいね。足がしびれるし。膝下が全部しびれる。ちょ
っと動いただけでも息切れするし。

脈診：脾滑、無力、腎弦

舌診：淡紅舌、白膩苔。

※下腿にところどころ湿疹あり。レスキュー使用回数 8~9 回/日

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右公孫、内庭、外内庭、右内通谷、左束骨・京骨
の間、肝兪、胆兪、志室、次髎

<円皮鍼>右肺兪、尺沢、崑崙

16:10 深夜も痛み変わらず、膝下の痛みあり。

12月5日

15:30 著変なし。レスキュー使用回数 7~9 回/日。約 2 時間おき
に使用している。

16:00 鍼灸治療 22 診目

痛い。どんどん痛い。呼吸もえらい。家では娘と関係悪化
している。本日の来院の際もケンカしてきた。

脈診：脾滑、肝弦

触診：足三里緊張、右公孫緊張、右太衝軟弱圧痛

☆治療部位

<毫鍼>恥骨上縁の圧痛点 4 か所、右太衝、右公孫、足三里、左期門、
肺兪、脊中、右脾兪、右胃兪、志室

<円皮鍼>右公孫、左尺沢

※鍼灸治療中は痛み消失。「こんなに痛みがないのは珍しい」とのこと。

主治医や妻よりストレス発散のために何かしては? と提案されると顔をしかめ、「イタタタ…」と言われる。何かすすめることもストレスと感じているのか。

12月19日

15:30 薬で 2 時間は眠れる。レスキュー使用回数 8~10 回/日。

【妻】昼間でも眠っている時がある。

【本人】昼夜逆転しとるんかも。

16:00 鍼灸治療 23 診目

いつもの事ですわ。治療中、入眠されている。

脈診：肝弦、胃滑、腎虚

触診：足三里~上巨虚緊張、右公孫緊張、

☆治療部位

<毫鍼>期門、左上巨虚、左復溜、右公孫、左肝兪、右胆兪、脾兪、
胃兪、大腸兪、崑崙

<e-Q>肺兪

<鍍鍼>背部、腹部

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

口癖になってきたため、使用を中止した。

● 患者コメント

「変わらんね」「痛い」と言われていたが、後半になると「レ

スキュー使用した直後は激痛が走る」など訴えるようになる。痛みで眠れないと訴えるも、家人からは寝ている姿を見ても。

● 家族コメント

隠れて煙草を吸ったりしている。痛いというが、よく寝ていたりするんです。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

外来でも「痛い」というが、鍼灸治療中は気持ちよさそうにしている。

【総括】

鍼灸治療は、治療前後の状態から疼痛に対して有効と考える。その理由には鍼灸治療前も「常に痛い。今も痛い」と訴えることも多かったが、置鍼中は居眠りしていたことから痛みは緩和していたと考える。家にいる間は、家人との関係からストレスを感じる事が多々あり、ストレスが強い時は痛みを訴える回数が増えている。そこで、ペインクリニックの受診や、気分転換に何かすることを提案するも、理由をつけて断っているため、指導の面からも難しい症例と感じた。

20130017 (NO. 67)

【患者】66歳、女性

【既往歴】卵巣癌術後（不完全手術）

【病態】卵巣癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X-1年9月中旬頃より、腹部膨満感を自覚した。10月に腹部エコーで腹水と腓腫を指摘されたため、CTをおこない、卵巣腫瘍を認めた。さらに精査で進行性卵巣癌、癌性腹膜炎と診断される。

予後詳細は未告知である。

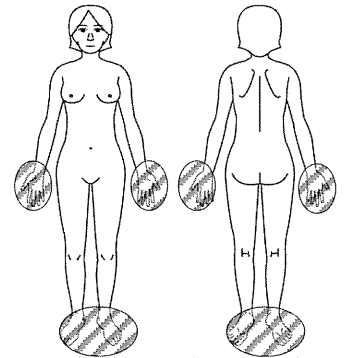
【服薬状況】

ファモチジン、パンテチン、センノシドA/B、

モルヒネ塩酸塩水和物液

術後化学療法：TC療法（パクリタ

キセル/カルボプラチン）



【鍼灸治療目的】

化学療法副作用である手足のしびれに対し、AB法（偽鍼・鍼）を行った。

【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：あり。望診：足の爪肥厚

しびれ：指先（手）VAS=72mm、足背VAS=90mm、掌VAS=67mm、

足底VAS=85mm

【弁証】気虚、血虚

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】1回/週、6回

【転帰】外来（のちに緊急入院）

【評価】しびれに対しVASにて評価。また、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)しびれ：やや有効

【治療経過】

9月12日

14:00 鍼灸治療1診目

手足のしびれが強く、ペンはうまく握れない。

足背は腫れぼったいじんじんとしたしびれがあり、

足手は日によって変動あり、本日は強い。

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：食べすぎの様な気がする

望診：足の爪肥厚

しびれ：指先（手）VAS=72mm

足背 VAS=90mm

掌 VAS=67mm、足底 VAS=85mm

☆治療部位

〈シャム鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

9月19日

14:00 鍼灸治療 2 診目

前回の鍼は2日目ではがれてしまった。指の付け根の腫れがひいて、指が伸ばせるようになった。アロママッサージしているけど、今まではこんなことなかった。

（マッサージは鍼灸開始前から行っている）

しびれ：指先（手）VAS=85mm、足背VAS=90mm、掌VAS=76mm、足底VAS=80mm

☆治療部位

〈シャム鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

9月26日

14:00 鍼灸治療 3 診目

特に変化なし。指の浮腫みも元に戻ってきてしまった。今回は4日間、鍼残ってました。足は3日ほどでとれました。

脈診：滑、腎微弦

舌診：淡白、薄白苔

触診：左胃経熱感

しびれ：指先（手）VAS=94mm、足背VAS=94mm、掌VAS=83mm、足底VAS=85mm

☆治療部位

〈シャム鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

10月10日

14:00 鍼灸治療 4 診目

わりと手の方は1週間近く残っていたんですが、足元はすぐに剥がれてしまった。

※円皮鍼貼付後手の先にチクツとした感じ（嫌な感じではなかった）がした。足の方は貼付後温かい間隔あり。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：暗淡白、薄白苔、舌下静脈怒張（R>L）

しびれ：指先（手）VAS=98mm、足背VAS=85mm、掌VAS=81mm、足底VAS=88mm

☆治療部位

〈円皮鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

10月17日

14:00 鍼灸治療 5 診目

手は4日目、足は2日目に剥がれた。左足先がじんじんと

痛かったのが、左足背に移動してきている。掌もグラデーションの様に指先（手）>指の付け根（手）>掌の順にしびれの強さが違う。

脈診：肝・腎弦、数

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張

しびれ：指先（手）VAS=87mm、足背VAS=91mm、掌VAS=78mm、足底VAS=88mm

☆治療部位

〈円皮鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

10月24日

14:00 鍼灸治療 6 診目

あまり変わらない感じがする。でも、昨日は手の浮腫みが無くなり、グッと握ることができてました。足のむくみはマッサージとしていたのでどっちが良かったか分からなかったけど、浮腫みは先週よりも良くなって、しびれもマシになってます。その代わりに脛の裏が時々痛い時がある。

脈診：弦、腎無力

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診：三陰交緊張圧痛、八邪穴圧痛（R>L）

しびれ：指先（手）VAS=86mm、指の付け根（手）VAS=79mm

足背 VAS=65mm、掌 VAS=58mm、足底 VAS=57mm

☆治療部位

〈円皮鍼〉八邪穴、八風穴、三陰交

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
円皮鍼による偽鍼、鍼と効果の差をみたが、治療1週間後でもあまり効果の差を認められなかった。
- 患者コメント
偽鍼3回目と、鍼3回目の時を比較すると、鍼の方が若干ではあるが、「しびれがマシになった」というコメントが得られた。
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
大きな変化は認められない

【総括】

本症例は化学療法副作用によるしびれに対し、円皮鍼（偽鍼と鍼）を用い、八風・八邪穴、三陰交を刺激し、効果の違いを調査した。結果的に、大きな差は認められなかった。治療効果はやや有効とした。状態悪化に伴い、今までできた事が出来なくなるとストレスを感じていた。

【患者】85歳、女性

【既往歴】S状結腸癌、ANCA関連血管炎、狭心症、
リウマチ性多発筋痛症

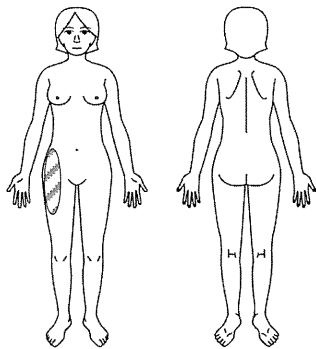
【病態】大腸癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

以前より、全身倦怠感あり。定期受信日の金曜の夜、夕食少なく、その後1回嘔吐する。土曜日、「しんどいが動けていた。便秘を心配して、ラキソベロンを使いすぎた気がする」とのこと。その後から下痢便持続する。ほとんど食欲なく、食べては少量の食物残渣の嘔吐に伴って、心窩部痛あり。

痛みは今も持続。9月13日に転倒。朝5時頃にトイレに行く際に屋内で転倒右股関節痛を訴える為、緊急入院となった。画像所見から、右恥骨と坐骨に骨折を確認。



【服薬状況】

プレドニゾロン 10 mg、パファリン 81 mg、シグマート、フランドル、マグミット、ラベプラゾールなど

【鍼灸治療目的】

歩行時の右大腿外側部痛に対して鍼灸治療が依頼される。

【東洋医学的所見】

右股関節外側を中心に大腿にかけての痛みを訴える。右股関節他動時痛あり。自動動作もわずかに可能。足指運動可能、感覚障害なし。ムカつきあり。脈診：72回/分、脾肝洪、腎やや洪、細。舌診：淡白、黄膩苔、乾燥。触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱、深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多くみられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛

BP：131/78、HR：93reg、BT：37.1度

【弁証】右足少陽経絡病、肝胃不和（ムカつき）

【鍼灸介入期間】30日間

【鍼灸治療回数】4回/週、12回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】3日間

【評価】評価に対し理解されなかったため、医療スタッフによる印象

評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右大腿部痛：有効

【治療経過】

9月17日

10：00 お腹は痛い事ないです。（どういう時に痛みますか？）
別に…下腹部が痛い。

12：00 数口食べました。（ムカつきは？）今は大丈夫です。

15：30 本日排便ないが、腹部緊満なし。

15：40 【娘】私が見ていると動いた後に嘔吐があります。水分もあまりとっていないようです。痛いのは入院時よりマシのようです。

レスキュー使用：5回

9月18日

6：30 お尻が痛い。この変。このままでおるわ。仙骨部に痛み。キリキリした痛みがある（NRS=10）

9：00 酸化マグネシウムとピコスルファート使用にて排便コントロール。午前中にポータブルトイレ3回移動され、少量ずつ2回、水様便多量1回。排泄後に右鼠径部周辺の痛みを訴える。

17：30 鍼灸治療1診目

足が痛い。（右股関節外側を擦る）じっとしていたら痛くないけど、動いたらちよっとね。ムカつき、吐き気はない。

脈診：72回/分、脾肝洪、腎やや洪、細

舌診：淡白、黄膩苔、乾燥

触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多くみられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪、左三陰交、左太溪、行間

<円皮鍼>右俠溪

21：00 痛いと思ってたけど、トイレ行っても大丈夫でした

9月19日

5：30 痛いは痛いです。やっぱり足が…腸蠕動音亢進気味

13：30 腹部不快感あり。

14：30 鍼灸治療2診目

痛い事はないよ。

脈診：81回/分、腎・肝洪、細

舌診：淡白、黄膩苔

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、俠溪、左太白、左三陰交、行間

<円皮鍼>右俠溪

レスキュー使用：3回

9月20日

10:00 (どうですか?) えらいね…
(体ですか? お腹ですか?) だるい…お腹は…
(痛みはないの?) 痛い… (どこが?) 足…
(じっとしていても?) ううん。全身の訴えあるが
疼痛の訴えはない。

9月21日

8:30 7時に右上腹部の痛みを訴える。
フェントステープ 1mg を貼付。
11:30 3回トイレにいったことで、右股関節痛を訴える。
13:30 【娘】午前中はしんどそうですけど、お昼から楽そうにな
って。本人が苦しんでいるのは見ているのも辛いです。娘
に精神的疲労がみられる。

レスキュー使用：3回

9月22日

18:30 【娘】ご飯がおいしいってたくさん食べたんです。この人
の好物だったし。さっきはトイレに行けたって喜んでた。
21:30 不眠に強い不安がある様子

レスキュー使用：4回

9月23日

11:00 便がしたい。便少量と排尿あり。

レスキュー使用：3回

9月24日

15:00 よう寝とった。動いたら、ちょっと痛いな。
17:30 鍼灸治療 3 診目
胸が辛いことも、足も痛い事もないです。

脈診：75回/分

触診：両下肢浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右陰谷

<円皮鍼>右行間、右内庭、右外内庭

レスキュー使用：2回

9月25日

13:30 心窩部痛を訴える (NRS=8)
16:00 鍼灸治療 4 診目
【娘】さっき、吐いてしまったんです。
【本人】うん。わざわざ来てくれてありがとう。

脈診：洪

触診：左神門軟弱、右内関緊張

☆治療部位

<円皮鍼>左神門、右内関

レスキュー使用：4回

9月26日

16:30 鍼灸治療 5 診目
さっきお風呂に入れてもらったし、綺麗にもらって…
はい、気持ちよくなってウトウトしてました。(胸がしんど
い事は?) なかったです。

脈診：脾滑

舌診：淡白、薄白苔

☆治療部位

<円皮鍼>右行間、内庭、外内庭、右俠溪

レスキュー使用：0回

9月27日

9:30 夜勤帯にご自身でコールされ、ポータブルトイレ使用し排
泄。泥状便少量あり。
15:30 呼吸苦しいです。痛いところないです。
(NRS=) 5 くらいかな?

16:30 鍼灸治療 6 診目

しんどい。胸がね、しんどい。吐きそうではない。浮腫に
よる下腿の痛みあり。

☆治療部位

<円皮鍼>右気戸、曲泉

レスキュー使用：3回

9月28日

11:30 ガス出てます。朝・夕→ごはん。昼→うどんに変更する。
14:30 動いた時に太腿が痛いです (R>L)
16:00 右股関節痛あり。
昼食後にアセトアミノフェン内服している。

9月29日

8:30 今日は美味しくご飯頂きました。3時、6時、7時に水様便
あり。腸蠕動音亢進気味。

レスキュー使用：1回

9月30日

0:00 あーいた。痛い。足が痛い。
8:30 2時、3時、8時に泥状便あり。

レスキュー使用：0回

10月1日

7:30 今朝は全部食べられました。昨日はお腹が痛かった。
お通じ出たら治りました。
15:30 ちょっとは良いです。胃の痛みはだいぶマシ。
16:30 鍼灸治療 7 診目
今はもう大丈夫。じっとしていたら痛くないんですが、リ
ハビリとかで動かしたraitたい。(どの辺ですか?)
うーん…この辺 (右鼠径部内側)

脈診：脾滑、肝無力、腎微弦

☆治療部位

<e-Q>足三里×3回、太溪×5回

<円皮鍼>右神門、膝関、右陥谷、右外陥谷、右臨泣

レスキュー使用：0回

10月2日

7:30 こんな便が沢山出るのはいかんな。この下剤も飲むの怖い。ちょっとやめたらあかんか？深夜帯に排便8回。

17:00 鍼灸治療9診目

嘔吐あり（8~9回/日）。

脈診：虚、脾・腎無力

触診：内関軟弱、外関深部硬結

☆治療部位

<円皮鍼>外関

21:00 ご飯食べなくなかった…。

レスキュー使用：1回

10月3日

10:30 胸が偉い。胸部不快感の訴えあり。

15:30 鍼灸治療10診目

今日は眠れました。便は出てません。

脈診：腎無力、細

舌診：淡白、白膩苔、乾燥。下腿浮腫（R>L）

☆治療部位

<e-Q>右太溪

<円皮鍼>右膝関、右太白、右内庭、右外内庭、右侠溪

21:00 胃液様嘔吐少量あり

レスキュー使用：3回

10月4日

11:00 深夜帯で5回排便あり

13:00 お腹が痛いです。レスキュー使用10分後に症状軽減

16:30 鍼灸治療11診目

気持ち悪い感じは治まりました。一日が長いわねー。

脈診：脾・腎微弦

触診：足三里表面軟弱・深部緊張圧痛

☆治療部位

<毫鍼>足三里

<円皮鍼>右膝関、右神門、右内庭、右外内庭、右侠溪

レスキュー使用：1回

10月5日

10:00 しんどいと、ナースコールあり。体位変換で様子を見ていく。軽度入眠後、すっきりしたとのこと。

レスキュー使用：2回

10月6日

15:30 呼吸苦あるも、レスキュー使用せず、酸素投与にて消失。

10月7日

4:30 S状結腸の病変肥厚あり。腸閉塞のリスク高い状態が続いている。

12:00 夜がかなんけど昼は大丈夫

レスキュー使用：4回

10月8日

2時、3時、5:45に呼吸苦を訴えられている。

15:30 入眠中のため、鍼灸治療中止

20:00 ああ、えらい。しんどい。もう死なせてほしい。

レスキュー使用：8回

10月9日

9:30 フェントステープ1mg→2mgに変更、フランドルテープ40mg追加する。

17:00 鍼灸治療12診目

あー鍼？なに？お腹しんどい事もない…。

☆治療部位

<鍍鍼>八風穴、左太溪

18:00 夕食を自己にて食べている

10月10日

11:00 あーえらい。えらい。

16:00 ああーううーーー。

身の置き所のなさがせん妄の悪化からくるものか、癌性疼痛からのものか不明。本日より昼夜逆転をなおすべく、ハロペリドールとクアゼパムを試みる。

18:00 状態悪いため、鍼灸治療中止

レスキュー使用：6回

10月11日

10:00 はい。痛くないです。えらくないです。

22:00 睡眠できず

22:30 同室者の声で覚醒してしまうほど、眠りが浅い。

10月12日

15:30 そばにいる時は苦痛を訴えない。

レスキュー使用：1回

10月13日

15:30 （痛みはないですか？）はい。大丈夫。

レスキュー使用：1回

10月14日

12:30 2~3回咀嚼されるのみで、食されず。口腔内にうどんが残っている。

10月15日

13:30 呼吸促迫、苦痛表情あり。

16:00 声かけにて、開眼するも、すぐにウトウトされる。

10月16日

16:30 声かけするも反応なく、鍼灸治療中止する

22:30 あーあーあー。

10月17日

3:30 コールあり。トイレかと尋ねるも、首を横に振る。寂しいのかと尋ねると寂しいと返答あり。

15:00 鍼灸治療13診目

入眠中であつたが、家人に了解を得られたので施行する

脈診：虚（ほぼ触れず）

触診：足背浮腫、冷えあり

☆治療部位

<鍍鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪、左太溪、百会

10月18日

7:30 意識レベル低下

10月19日

18:30 夕食1割ほど摂取される

レスキュー使用：2回

10月20日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
認知症もあり、印象評価を使用する
- 患者コメント
1診目3時間後：痛いと思ってたけど、トイレ行っても大丈夫でした。
- 家族コメント
医師・看護師には言えない不満や不安を鍼灸師に対し、語られることが多い。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

本症例は右大腿外側部痛に対して鍼灸治療を行った。その結果、1診目3時間後にトイレに行った際は痛みを訴えることはなかった。また、リハビリによる筋肉痛の痛みと混合が認められたため、明確に大腿外側部痛を訴えていた状態の評価をもとに、有効と診断した。

それ以外の呼吸苦、浮腫に対しては鍼灸治療を行う時間帯には症状がない、ストッキング着用していたため、状態をみることもできなかったため、今回は介入していない。

他方、家人のストレスが非常に強く、治療に行く際には介護に対する不満、医療に対する不満などを涙ながらに鍼灸師に語る事が数回あり、同時に「イライラして患者にあたってしまう」「いつ呼ばれ

るかどゆっくり眠れない」といった相談を受けた。その際、不眠にはこのツボがいいといった指導を行ったところ、「昨日は朝までゆっくり眠れた」と翌日、感謝された。

これらからも、患者のみならず、介護する側のケアの重要性を示唆するケースであった。

【患者】78歳、男性

【既往歴】転移性脳腫瘍 (stageⅢ)

【病態】肺癌 (腺癌)

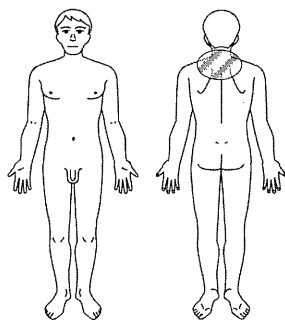
【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X-3年3月、CT下にて生検した結果、腺癌の可能性あり。頭部MRIでも頭蓋内に転移を疑う像、腎機能障害もあり、化学療法をせず。原発および、転移巣も当初の予想よりも増加のスピードは遅い印象。マーカーはCEAが上昇。画像からの長径90mm程度。(X-1年/11では81mm)。脳MRI (X-1年/5) 右後頭葉の像はなし。精神的不安が強く、一度退院するも、不眠や異常行動が増えたため家族負担が大きく、再入院となった。鍼灸治療を本人が強く希望されたため、不定愁訴に対し介入した。

【服薬状況】

フルニトラゼパム、クロキサゾラム、チアプリド中止。眠前ハロペリドールのみとする



【鍼灸治療目的】

不安からくるものか、精神安定の治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、舌診：暗淡白、白膩苔。触診：右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、左神門陥凹発汗

【弁証】肝血虚、心気虚

【鍼灸介入期間】57日間

【鍼灸治療回数】4回/週、27回

【転帰】退院 (後日再入院 逝去)

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】精神的評価は、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 精神安定：不明

【治療経過】

9月20日 せん妄、不眠により家族負担が大きくなり再入院となった。

16:30 鍼灸治療をまた、お願いします。と本人の希望あり。

時折、床やパジャマの様子が動いて見えることも。

9月21日

4:00 ゴミなど漁る行動が認められる。

21:30 吸引チューブ。5本ほど床にばらまかれている。

9月22日

3:30 笑顔であるも、左肩の痛みを訴える。

11:30 痛くないけど、オキシコドン塩酸塩水和物散飲む。

レスキュー使用：3回

9月23日

16:00 落ち着いてはいるが、以前の本人と違う人格である印象。

レスキュー使用：1回

9月24日

15:30 鍼灸治療お願いします。痛みはオキシコドン塩酸塩水和物散飲んだら治りますが…。

レスキュー使用：1回

9月25日

1:00 準夜帯2回廊下を歩行されている

17:00 鍼灸治療1診目

【妻】入院前から「鍼灸治療は受けるんや」って言っていました。

【本人】左のここんとこ (肩甲間部) が気になる。あんな、子供が便秘しとるんや、どこのツボ使ったらええんや？ (子供ではなく自身のことも)

脈診：肝弦

舌診：暗淡白、白膩苔。

触診：右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、左神門陥凹発汗

☆治療部位

〈鍍鍼〉百会

〈円皮鍼〉右腕骨、右神門、右内関、右肺俞、左心俞、右肩井

22:30 床に花瓶を落とし、びしょぬれ状態を見つける。

レスキュー使用：0回

9月26日

9:00 便がでない。浣腸施行により、普通便多量に。

17:30 鍼灸治療2診目

(気になる場所はありますか?) 発語なく、右頸部、右肩を指さす。

脈診：腎無力

☆治療部位

〈鍍鍼〉右肩井、右肺俞、左心俞

〈円皮鍼〉右肩井、右肺俞、右神門、太溪

レスキュー使用：0回

9月27日

10:30 夜間ややせん妄による行動が多い
12:30 ラウンジに変な男がいて腕を掴まれたと興奮気味に話す
16:30 鍼灸治療3診目
(肩の痛みはどうか?) →沈黙
(よく眠れましたか?) →「シー」と隣で人が聞いている
からと口到人差し指をあてる。

脈診: 脾洪、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交、左神門、外関、右肩井、右肺俞

レスキュー使用: 0回

9月28日

16:30 夕方にかけて興奮状態になる。

レスキュー使用: 1回

9月29日 せん妄によるものか不穏な行動が増えている。

9月30日

15:30 昼夜のリズムをつくるクアゼパムとゾピクロン使用。フルニトラゼパムは中止する。

レスキュー使用: 1回

10月1日

1:30 訪室すると全裸で室内に立たれ、シーツに失禁あり。

3:00 全裸状態で廊下にいる。更衣を促すも全力で抵抗、腕をつかむなどする。

4:30 全裸でウロウロされている。

10:30 フルニトラゼパム、クロキサゾラム、チアプリド中止。眠前ハロペリドールのみとする。

17:30 鍼灸治療4診目

ベッドに横になるよう促すも、スムーズにはできず、何度か声かけで従われる。

☆治療部位

<毫鍼>上巨虚、三陰交、左足三里

10月2日

0:00 日中覚醒されているも夜間になっても休まれる様子はない。

9:00 夜間は昨日に比べてやや改善するも、以前不穏行動あり。

17:00 鍼灸治療5診目

声かけすると軽く首を動かさず程度で発語なし。

脈診: 腎無力

☆治療部位

<円皮鍼>後溪、行間、右太溪

19:30 訪室すると、入眠中

20:30 床に放尿されている

10月3日

5:30 下肢何も履かず廊下を歩いている。その後も眠る様子ない

14:00 夕眠前にハロペリドールを行う

16:00 鍼灸治療6診目

発語なし。

脈診: 腎弦、肝滑

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右太溪、左三陰交、行間

<鍬鍼>百会

<円皮鍼>左神門、左外関

23:30 室内ゴソゴソ落ち着きなし

レスキュー使用: 2回

10月4日

9:30 昨夜から未明にかけて、以前より落ち着いている?

16:00 鍼灸治療7診目

入眠中であるが、施行する。

脈診: 肝弦、腎微弦、細

触診: 右太溪皮膚乾燥・陥凹、足三里表面緊張、右太衝表面軟弱・

深部緊張

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、左三陰交、太衝、右足三里、右地五会

<円皮鍼>右神門、行間、右太溪

20:30 詰め所にて、医師を鉛筆で刺そうとした。パソコンのマウ

スを引っ張って切断する。

23:00 看護師を引掻くなどされる

10月5日

23:00 シーツをすべて外し、パジャマを何度も着替える。

10月6日

5:30 リズムが整ってきたのか落ち着いてきている

19:30 気持ち悪くない。でも、食べません。夕食を拒否

レスキュー使用: 1回

10月7日

10:30 夜間の興奮もだいぶ落ち着いてきている

15:00 身体的、精神的ストレスがある様子。

レスキュー使用: 1回

10月8日

15:00 鍼灸治療8診目

指示にスムーズに従われる。

脈診: 弦、腎無力

触診: 右太溪軟弱・陥凹、左後溪軟弱、左三陰交緊張、右足三里～

上巨虚緊張

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右太溪、左三陰交、左腕骨

<鍬鍼>腕骨

<円皮鍼>右太溪、左後溪

15:30 背部痛を訴えられる。

21:30 以降、左胸部痛を何度か訴える
レスキュー使用:7回

10月9日

17:00 鍼灸治療9診目
声をかけると笑みを見せられる
脈診:93回/分、弦、肝実、腎無力

☆治療部位
<毫鍼>右上巨虚、左足三里、左地五会、太溪、右太衝、外関、
右合谷 ※鍼灸治療中、腸蠕動音あり
レスキュー使用:1回

10月10日

11:00 洗腸施行。普通便あり

18:00 鍼灸治療10診目
いつもお世話になってます。一礼してベッドに横になる
脈診:肝弦、腎無力
触診:右足三里緊張、太溪軟弱、右太衝深部緊張

☆治療部位
<毫鍼>右足三里、太溪、右太衝、左侠溪、右外関
レスキュー使用:3回

10月11日

6:30 本を破いたりされている

16:30 鍼灸治療11診目
右肩前面と左肩後面を擦りながら痛みを訴える。
脈診:肝腎弦、細

☆治療部位
<毫鍼>右上巨虚、太溪、左三陰交、行間、左陰谷、左外関
レスキュー使用:4回

10月12日

19:30 左胸部を触られている。
レスキュー使用:3回

10月13日

1:00 廊下に出ているが興奮上大ではない

11:00 左頸部、リンパ腫大を認める。
レスキュー使用:4回

10月14日

21:30 怖い!!室内で騒いでいる。
レスキュー使用:6回

10月15日

4:30 喉に違和感と痛みを訴える。

17:30 鍼灸治療12診目
肩の動作時痛を訴えるが、鍼灸治療後は消失。

☆治療部位
<鍍鍼>右太衝、右行間

<円皮鍼>左魚際、左外魚際、左二間、左中渚、神門、左公孫
レスキュー使用:4回

10月16日

15:30 鍼灸治療13診目
脈診:84回/分、脾・腎弦。
※治療開始前に「トイレ」と言われる。我慢できませんか?すぐ終わりますと言っても、我慢できないと言われたため、他の患者さんのところを回ると伝え、退室。

15:30 【妻】鍼灸治療中に「トイレ」と言いだし、鍼灸師さんが
でていった後、トイレに行くと思ったらガラスに頭をぶつ
け始めて、止めに入ったら私の腕を掴んで嘔もうとしたん
です。もう、怖くて…。

21:00 眠前にミアンセリン10mg、ハロペリドール使用

10月17日

7:00 詰め所に来て、マウスのコードを引きちぎりだす。

16:00 鍼灸治療14診目
左肩の痛み。鍼灸治療後に鼻のつまりを訴える。
脈診:肝・腎弦

☆治療部位
<毫鍼>右上巨虚、右太溪
<円皮鍼>左魚際、左外魚際、左外関、左神門、左後溪、右風池
レスキュー使用:3回

10月18日 外泊

10月19日

15:30 日内リズムを作るため、出来る限り昼間は外に散歩させる
など、疲れさせることを考える。
レスキュー使用:4回

10月20日

15:30 的当てゲームをする。時折険しい表情になるが危険行動は
ない

23:30 会話中、突然怒鳴る。
レスキュー使用:7回

10月21日

14:30 排便処置日に不穏行動が強い印象がある月・水・金と曜日
を決めて洗腸を施行。
レスキュー使用:6回

10月22日

14:30 ストレスはお腹がすくこと。

17:30 鍼灸治療15診目
肩外側を指さし「痛い」と。

☆治療部位
<円皮鍼>右三角筋下縁、左第3肋間
レスキュー使用:2回

10月23日
10:30 浣腸を険しい表情で拒否される。
17:30 本人希望により鍼灸治療中止
レスキュー使用:4回
10月24日
17:30 鍼灸治療16診目
脈診:弦・細
☆治療部位
〈鍤鍼〉労宮
〈円皮鍼〉左胸部圧痛点
レスキュー使用:4回
10月25日
7:00 入眠。朝まで起きず。
14:00 浣腸を拒否される。
18:30 鍼灸治療17診目
「今日はいい」一度拒絶されるが、手のツボだけ押させて
くださいというと、頷かれ手を出される。刺激中は異常行
動なく、落ち着いている様子。
☆治療部位
〈鍤鍼〉労宮
レスキュー使用:3回
10月26日~27日 外出
10月28日
9:30 外泊・外出後は精神状態安定している印象がある。
22:30 蛇!蛇がいる!!自室にて騒いでいる。
10月29日
4:30 「火事や!!」訪室すると室内水浸しであった。
10:00 浣腸を拒否
16:30 鍼灸治療17診目
胸部ではなく、左肩背部が痛む
☆治療部位
〈鍤鍼〉労宮
〈円皮鍼〉左肩外兪、左内関、左手三里、左腕骨
レスキュー使用:3回
10月30日
14:30 今週に入って食事の摂取量が減少
16:30 鍼灸治療18診目
浣腸拒否されるので、鍼灸治療にて整腸を希望する。
脈診:弦、数
触診:腹部緊張、足三里~上巨虚緊張
☆治療部位
〈毫鍼〉右上巨虚、左足三里、三陰交
〈鍤鍼〉腹部、労宮

レスキュー使用:3回
10月31日 午前、浣腸を施行するが排便なし
16:00 鍼灸治療20診目
痛みなし
☆治療部位
〈鍤鍼〉腹部、労宮
〈円皮鍼〉左内関
16:30 色々痛む…。と言われるが、どこが痛いというわけ
ではない。
レスキュー使用:3回
11月1日
10:00 左上腕を擦りながら痛みを訴える。
15:00~11月3日 外泊
11月4日
15:00 【妻】家でも、ずっと横になっていました。
18:00 「豹の子供がいる」と言われているが、落ち着いて過ごさ
れている。
レスキュー使用:1回
11月5日
14:30 腕の痛みは「今は強くない」と。ウィルヒョウ腫大して
きている。
17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止
レスキュー使用:3回
11月6日
13:30 先日の朝、排便ありと本人から妻に伝えていた。
18:00 入眠中であつたため鍼灸治療中止
11月7日
14:30 排便あつたといわれるが、確認できず。腸蠕動音は聴取。
食事3割可能。入浴時、下着に排便が少量ついていた。
17:30 鍼灸治療21診目
本人入眠中だが、鍼灸治療施行
☆治療部位
〈毫鍼〉右上巨虚
〈鍤鍼〉労宮、湧泉、腹部
レスキュー使用:2回
11月8日
14:00 排便ないが排ガスあり。
17:30 鍼灸治療22診目
終始無言。左肩後面が痛む。それ以外はない。
脈診:腎無力
☆治療部位
〈鍤鍼〉労宮
〈円皮鍼〉左腕骨、左肺兪

18:00~11月9日外泊

レスキュー使用:3回

11月10日

10:00 検温前にトイレに行かれており、自然排便あり。

レスキュー使用:2回

11月11日

17:00 妻から少し眠そうな姿が多くなった印象があった

レスキュー使用:1回

11月12日

14:00 左上肢~手背と両下肢浮腫

18:00 鍼灸治療23診目

声かけにて覚醒するが、すぐに入眠される。

☆治療部位

<鍹鍼>腹部

<円皮鍼>右太溪

レスキュー使用:3回

11月13日

12:30 昼食:主食4割、副食2割

16:00 排便あり

18:00 鍼灸治療24診目

【妻】排便ありました。結構な量でした。

脈診:肝弦、腎無力

触診:腹部ソフト

☆治療部位

<鍹鍼>労宮

<円皮鍼>右外関

17:30 今日は調子良かったみたいです

レスキュー使用:2回

11月14日

17:30 鍼灸治療25診目

発語なく、入眠中

脈診:75回/分、脾滑、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右膝関

<円皮鍼>太溪、左液門、左外魚際

レスキュー使用:2回

11月15日

15:00 起きて何かする動作はない。

16:30 眠いため、鍼灸治療拒否

レスキュー使用:3回

11月16日 外泊

11月17日

21:00 血尿あり

11月18日

21:30 臥床しながら、ゴソゴソ動かれているが危険行動はない。

レスキュー使用:2回

11月19日

16:00 寝ている時間が多く活気がない

17:00 鍼灸治療26診目

声かけするも無言

脈診:弦、細

触診:左手・下腿浮腫。

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左復溜

<鍹鍼>百会、神庭

<円皮鍼>右外関、右後溪

レスキュー使用:3回

11月20日

17:30 鍼灸治療27診目

左腕は包帯、右手は点滴のため脈診とれない。

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、三陰交、太溪

レスキュー使用:1回

11月21日 退院

11月22日 再入院

11月25日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価

評価なし

- 患者コメント

前回から引き続き、左肩痛には「OK」とすることはあるが、せん妄による行動は鍼灸治療中には見られなかった。

- 家族コメント

鍼灸治療を受けることを凄く楽しみにしている。

- 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例はせん妄があり、スタッフに暴力やPCマウスを引きちぎるなどの異常行動があるとのことだったが、鍼灸治療時には一切認められなかった。異常行動が夜間に多いということから、18時頃に施術時間を変更するも、異常行動を見かけることはなかった。異常行動の評価も難しいため、鍼灸治療の効果があったとはいえない。そのため、評価は不明とした。

【患者】73歳、男性

【既往歴】特記なし

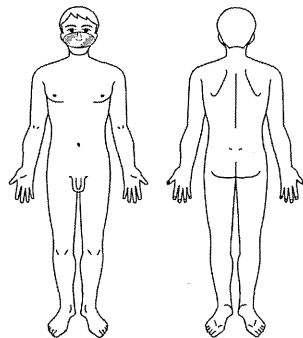
【病態】胃癌 (StageIV)

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X年9月へ術前化学療法入院。大きな副作用なく退院する。(8日間、CDDP) TS-1服用終了の21日目に外来受診。倦怠感が強く、食事は何とか食べられている。下痢は3回/日あるときも。

化学療法副作用と思われる、腎機能も悪化しており、経口摂取困難であるため、入院の上、補液を行う。ある程度、体力が戻ってきたため、化学療法再開。しかし、副作用である口内炎が出現。休薬し、回復を待つ。服薬効果により、痛みは治まりつつあるが、口内炎の早期回復を目的に鍼灸治療併用となった。



【服薬状況】

デキサメタゾン

【鍼灸治療目的】

口内炎に対して鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

足陽明・厥陰経に熱感あり。脈診：肝弦。

口内炎箇所は口を開けられないことから確認はとれなかったが、唇にただれがあるのは確認が取れた。

【弁証】胃熱

【鍼灸介入期間】9日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】口内炎に対しての治療を終了

【鍼灸治療最終日～転帰】引き続き治療

【評価】NRSにて評価をとっていたため、NRSを採用した。

【鍼灸治療最終評価】

1)口内炎：不明

【治療経過】

9月27日 数日前から体調が悪かった。2日ほど食事取れていない。本日から吐き気、動悸、腹痛、下痢なく、内服できている。火曜から調子わるくエンシユア 500ml/日程度。

11:30 口内炎が口全体にできて痛くて食べれなかった。サンドイッチを2~3口食べたら食べれんようになる。うがいは食事

前後にしてるし、オーラルバランスを自分で買ってきて塗ってる。お腹は痛い時あるけど、薬は使わなかった。昨日から下痢便10回/日。左季肋部痛が持続している。しかし、オキシコドン塩酸塩水和物散は使用せず。

9月28日

9:30 鼻の中が腫れて乾燥するから薬が欲しい。

19:00 口が痛いし、ネバネバかなわんわ。味噌汁はのむ。後は無理やな。

レスキュー使用：0回

9月29日

9:30 口も目も乾燥する。口内炎が痛くて、ご飯が食べられない。口も開かない。

11:00 今日はちょっとひどいな。イタタタ…。

軽度左季肋部 NRS=2。腸蠕動亢進、腸蠕動痛の訴えあり。

黒色水様便頻回。口唇、舌唇、口内炎著明。口唇は表皮剥落あり。疼痛に伴い、開口難しいとの発言があるが、会話に支障はない。

21:00 お腹はすいているのに、口が痛くて食べられない。

レスキュー使用：0回

9月30日

13:00 乾燥するで、その上にウェットティッシュあてて、マスクしとんのやけど、またうがいの時に血が出るんや。そのままマスクしたら乾燥するし、良い方法ないか考えるんや。左季肋部痛 NRS=2。食欲あるも、痛みが強く出血もあり、少量しか食べれないと。

レスキュー使用：0回

10月1日

10:00 お腹の左上のところは痛くないときもある。今はNRS=2くらい。口は痛い。

13:30 食事終わった。味噌汁はお椀が口に当たって痛い。

10月2日

14:30 朝食は2~3時間かけて、お茶コップ1杯、味噌汁1杯、昼食は3時間かけてヤクルト1本、エンシユア吸い込み1/2摂取したところで、これからお茶と味噌汁飲むところや。

10月3日

13:00 痛いで。これは痰やないんや。口腔内、口唇の痛み強く、頻回に含嗽されている。

10月4日

11:30 口はひどいな。TS-1+CDDP施行後、口内炎あり、経口不良→腹水

10月5日 口内炎の痛み強いため、生理食塩水で含嗽行う。口内炎除痛のため、毎食前オキシコドン塩酸塩水和物散内服行う。

16:00 変わらんかった。痛いもんは痛い。塩水はよかった。

10月6日
14:30 痰が期連。口はちょっと開くようになったんや。けどゼリーは無理やな。
20:00 味噌汁だけでよい。ヤクルトは吸い込みに入れてくれたら飲もうかな。痛くて、話するのも億劫になる。

10月7日
14:30 口が痛い。薬が入ったやつでうがいしている。口唇のただれ著明であり。倦怠感あり。日中入眠している事多い。

10月8日
16:00 口腔ケア。食事を必死で摂取してもらうことはない。口腔粘膜が悪化しているため、胃粘膜も同様の症状を起こし、下痢を起こしている。TS-1 終了2週間で改善してくる予定のため、そろそろ改善のころ。
14:30 変わらんで。

10月9日
14:30 痛いしな。痰はきれないし。ずらずら出てくるし、目もひつつしな。口腔内汚染はひどくなく、右上顎に、左上唇裏に潰瘍あり。

10月10日
16:30 現在、疼痛のため歯磨きに対して抵抗あり。症状が軽減してきたりしたら、スポンジで行う。
18:00 鍼灸治療1診目
味噌汁は食べれてるんや。ここんところが痛くて、口をあけれんのか。唾液も粘っている。
痛み:VAS=32mm
☆治療部位
<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月11日
14:30 味噌汁は全部飲んだ。
15:00 プリン食べてもええか?
15:30 痛いは変わらない。口が渴くと唇が張り付いてしゃべりにくいんや。歯石あり。スポンジブラシで磨いてもらうよう促すも、歯肉に触れると痛みあると。
16:00 鍼灸治療2診目
変わらんな。痛いは、薬塗ったところだけや。口内炎は痛くない。鍼は痛い事なかった。
脈診:肝弦、腎浮滑
痛み:VAS=28mm
☆治療部位
<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月12日
7:00 準夜帯で出血あり、現在はなし。唾液の流出が以前ほどではない。

10月13日
14:30 口唇からの出血なし。
右上の粘膜部にできている潰瘍は小さくなっている。
14:40 ゼリーはスルッと入ったわ。プリンも食べようかと思ってるんやけど、少し大きい奴やから食べれんな。

10月14日
12:30 もとから口を噛んでよく口内炎になっていたから、また噛まんようにしないと…。口腔内疼痛軽減。

10月15日
8:00 疼痛の訴えなし。口唇の痂皮なく、出血なし。
17:30 鍼灸治療3診目
上は綺麗になったやろ?後は舌唇の真ん中から右側のところやけど、突然話しかけられたりして、口あけると傷が開くからな。看護師さんが来てても口きかん時もある。しゃべらないんや。酷くなったらかなん。
脈診:90回/分、脾滑、肝腎微弦
☆治療部位
<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
20:00 口はだいぶ開くようになった。

10月16日
16:30 鍼灸治療4診目
唇は湿ってる時は痛くない。乾いたら痛い。
痛み:NRS=2
☆治療部位
<鍍鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
17:00 ご飯がネチャツとしてて、飲み込みにくかった。前は唇が痛かったけど、そのまま飲めた。

10月17日
11:30 口内炎改善とともに食事摂取できている。
15:00 鍼灸治療5診目
痛みない。おやつも食べた。全体の1/4がおかしい気がする。唾液はネバっとした時とそうでない時がでてきた。
痛み:NRS=0
☆治療部位
<鍍鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月18日
15:30 鍼灸治療6診目
痛い事はない。唇と指の皮がはがれが気になる様子。
脈診:肝弦、細、腎無力。
☆治療部位
<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月19日

12:30 5分粥と味噌汁とお茶とフルーツ全量摂取可能。

10月20日

19:00 下痢は治まったけど、おならが出ない。

10月21日

20:30 調子良いですよ。

10月22日

15:30 潤って見えるけど唇は熱をもっていてピリピリする。

17:00 口内炎の痛みが消失し、口内炎に対しての治療を終了。

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
鍼灸治療介入前 NRS=2 であった痛みが NRS=0 となった。
- 患者コメント
2 診目以降、変わらんなあ。だいぶ口も開けれるようになった。
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

本症例は口内炎に対して鍼灸治療介入したが、介入した時点で回復時期に入っていたため、鍼灸治療効果があったかどうかは不明である。しかし、治療開始してから痛みが悪化することはなかったため、予防的に作用していたのではないかも考える。

20130021 (NO. 71)

【患者】64歳、男性

【既往歴】C型肝炎

【病態】膵癌 (T4, M0)

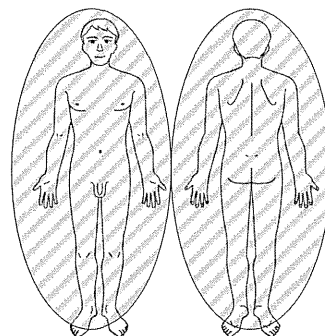
【ターミナル期】ターミナル中期

【現病歴】

X年6月中旬より、上下腹部痛あり。

腹部CTにより8月には肝右葉中心多発性15mm大腫瘍。その後の検査から膵癌、多発性肝転移性腫瘍と疑いがあり当院に受診に至った。

胸部CTにより膵体部～膵尾部までの膵癌と診断。内部一部壊死性変化あり。脾動脈閉塞側副血行路発達。肝内多発転移性、膵癌は最大10cmあり、転移の可能性があり手術不適と診断した。



【服薬状況】

オキシコドン 5mg、オキシコドン塩酸塩水和物 (散) 2.5 mg

【鍼灸治療目的】

全身倦怠感に対し、鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫

【弁証】腎気虚、肝胃不和

【鍼灸介入期間】4日間

【鍼灸治療回数】4回/週、4回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】NRSにて評価をとっていたため、NRSを採用した。また患者コメント、医師・看護師による印象評価を総合し、診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 全身倦怠感：有効

【治療経過】

10月11日

23:30 マッサージは気持ちいいです。ムカつきはずっとあるわけではないです。

レスキュー使用：1回

10月12日

12:30 お腹が張ってるし、えらいんはどうにもならないんです。

22:00 癌の痛みは今は大丈夫ですが、だるさがね。夜あまり眠れてない…

レスキュー使用：3回

10月13日

7:30 だるさがとれない。背中が痛い。

レスキュー使用：2回

10月14日

10:00 吐きそう、気持ち悪い。吐き気止めください。

レスキュー使用：3回

10月15日

10:30 吐き気と言うよりお腹はって浣腸お願いします。

17:30 鍼灸治療1診目

全身だるい (NRS=9)

脈診：脾・腎弦、肝無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫

☆治療部位

<毫鍼>左公孫、束骨・京骨の間、太溪、後溪

<鍍鍼>腹部、肩背部

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会

レスキュー使用：7回

10月16日

16:30 鍼灸治療2診目

昨日より倦怠感マシだけど (NRS=) 9 だな。肩もこる、首の横と後ろ。

脈診：腎・肝微弦、脾滑。左湧泉硬結

☆治療部位

<毫鍼>後溪、右外関、交信、左束骨・京骨の間、右公孫、右内通谷

<円皮鍼>左太溪、右内庭、右外内庭、右地五会

レスキュー使用：4回

10月17日

10:30 (よく眠れましたか?) 今までで一番休めた感じがします。だるいのでさすってもらってました。

16:30 鍼灸治療3診目

…あ、鍼お願いします。

NRS で症状の強さを確認するが、「わからない」と。

脈診：脾弦、90回/分

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫、左交信、右外関、左手三里

<円皮鍼>右外関、後溪、左手三里

18:00 オキシコドン 5mg→10mg に増量、

オキシコドン塩酸塩水和物 (散) 2.5mg 処方

レスキュー使用：3回

10月18日

15:00 しんどい。体に力が入らん。一番これがかなん。情けない。

16:30 鍼灸治療4診目

あ、鍼ですか? ありがとう。だるい感じは (NRS=) 8。

鍼灸治療中入眠する。

脈診：滑、93回/分

☆治療部位

<毫鍼>右行間、右足三里、右三陰交、太溪

<円皮鍼>後溪、右外関

17:30 突然キーンとなってイライラする

レスキュー使用：2回

10月19日

15:00 【妻】起きると柵や自分の腕を叩いたりしています。

レスキュー使用：3回

10月20日

7:30 しんどそうです。眠らせてください。ドルカム開始

レスキュー使用：4回 (0:00~8:00)

10月22日 逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

NRS=9 であったものが NRS=8 とわずかではあるが低下が認められた。

● 患者コメント

2診目後：「今までで、一番休めた」

● 家族コメント

死前期には身の置き場なく、自身を叩く行為がみられた

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例の病態進行が早く、患者自身が受け入れる間もなく入院に至った事に対し、強いストレスを感じていた。そのため、状態悪化に伴う全身倦怠感に対して鍼灸治療を希望されたため、施行した。結果、NRS の変化では大きく変化は認められなかったが、介入前後で比較した結果、睡眠時間が増えていることから効果があったと考える。

【患者】73歳、男性

【既往歴】アルコール性肝硬変、
門脈血栓症（門脈腫瘍栓疑い）

【病態】肝細胞癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-3年5月、吐血があり、初診を受ける。静脈瘤はあったが、それによる出血ではなかった。入院時にて肝硬変（liver cirrhosis）と肝細胞癌（hepatocellular carcinoma）を指摘された。

X-1年2月に肝動脈化学塞栓術（TACE）を施行。6月アンギオを行う。肝細胞癌は胆嚢動脈が関わっているため治療不可能。6～7月、10月、X年1月にエタノール注入療法（PEIT）を行うも効果乏しい。

X年3月、胆嚢動脈がfeederのため、TACEは一部のみ行う。5月、CTで肝細胞癌の拡大が認められたため、6月よりネクサバル開始する。しかし、倦怠感が強いので、徐々に減量する。7月末、門脈血栓（おそらく一部は腫瘍栓）を認めたため、一時的に入院に至った。9月中旬に高熱、食欲不振もあり、入院に至った。

【服薬状況】

フェンタニルクエン酸塩

【鍼灸治療目的】

肩背部の痛みに対して依頼される。

【東洋医学的所見】

脈診：75回/分、脾・腎弦。触診：

右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張。るいそう。声は小さい。神経質なところもある。爪白。軽度足背浮腫。

【弁証】肝血虚、腎気虚

【鍼灸介入期間】10日間

【鍼灸治療回数】4回/週、7回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価の説明するも理解が得られないため、患者コメントおよび医師・看護師による印象評価にて診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 肩背部痛：著効

【治療経過】

10月22日

17:00 鍼灸治療1診目

声がもっと出ようになりたい。ケンビキが痛い。

脈診：75回/分、脾・腎弦

触診：右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左太衝、左交信、右期門、右章門、後溪

<鍍鍼>肩背部

18:00 鍼灸してもらったし、少し楽になった気がする

10月23日

11:00 フェントステープ1mg開始。

17:30 鍼灸治療2診目

ケンビキが気になる。横になっていると腰が痛い。

脈診：脾滑、60回/分

☆治療部位

<毫鍼>後溪、交信

<鍍鍼>肩背部

<円皮鍼>左肺俞、左厥陰俞、左胃俞、後溪

20:30 今日は鍼してもらったから、楽

10月24日

15:00 痛みは少しマシになっている。今の一番ストレスは声が出せないことや

16:30 鍼灸治療3診目

楽です。痛い事はない。今日は声が出ないから。

脈診：脾滑、腎微弦・無力

触診：右公孫緊張、足背浮腫（R<L）

☆治療部位

<毫鍼>左太衝、左陥谷、左外陥谷、左地五会、復溜、右公孫

<円皮鍼>太溪、左陥谷、左外陥谷、左地五会

10月25日

17:00 鍼灸治療4診目

背中が痛いのはない。右腕がかゆかゆやった。

脈診：78回/分、弦

舌診：紅舌、舌中剥落、舌尖紅

☆治療部位

<毫鍼>左太溪、右公孫、行間、右膝関

<e-Q>太溪×5回

<円皮鍼>左肺俞

<鍍鍼>肩背部

10月26日

16:00 鍼してもらってから、少し楽になった感じがする！

